



ご挨拶

― 母校の歴史と伝統を大切に

更なる飛躍を ―



同窓会長

渡辺 悼夫

秋も日増しに深まり、朝夕の冷気が身にしむ頃となり、今年も毎年恒例の同窓会総会開催の日を迎えることとなりました。

同窓会員の皆様には、日々ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

常日頃は当同窓会の諸活動並びに、母校の更なる発展向上のために温かいご理解とご協力をいただき深く感謝を申し上げます。

ご承知のように、我が同窓会も多数の会員を

擁し、年々活動実績を積み上げ、お陰様でその存在感を増しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価をいただいておりますことは我々の大きな喜びであり、誇りでもあります。

このことは偏に、会員皆様の変わらぬ母校愛と日頃のご協力の賜物であるとともに、加えて学校ご当局の弛まぬご努力と関係者の皆様のご支援とご協力があったることであり、ここに改めて深く敬意を表し感謝の意を表する次第であります。

発行所
新潟市江南区北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 悼夫

- 一 母校愛精神の昂揚
 - 二 伝統保持と敬愛
 - 三 会員の連繋と相互扶助
- 綱 領

今後我々は、多くの先輩各位の築いた輝かしい実績と、母校の建学の精神を大切に継承しながら卒業生としての誇りを持ち、同窓会と母校の発展のために努力をしていかなければなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正10年の創立以来、今年で実に九六年の歴史を有し、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて参りました。そして

四年後には創立百周年という輝かしい記念すべき年を迎えます。また、新潟明訓中学校も今後の新しい時代に対応し、更なる発展を期すために創設され11年目を迎え、高校と相協力し、中高一貫教育の一翼を担い、より幅広い人材教育の実現に取り組み努力するとともに、卒業生の難関大学への入学にも果敢に挑戦し、着実に合格実績を挙げております。

更にまた部活動等に於いても、運動部、文化部共に県内各種大会は勿論、全国規模の大会に於いても大活躍をしております。

今、我が同窓会としまして、これらの母校の大活躍に相応しい体質の強化と組織の拡充発展が求められており、それにむけて努力しております。

幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しております。この多くの皆様から母校の現状を更に知っていただくとともに、多くの関心を持つていただき、互いに同志的意識を高め、協力体制を確立することにより母校の発展に資するとともに、尚一層の同窓会の活性化と発展に繋げていかななくてはなりません。

今後共、同窓会員の皆様のご指導とご協力を心からお願ひ申し上げます。

生き甲斐は自分で作る



理事長

伴 昭彦

ます。

最後に母校のますますのご発展と、同窓会の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

同窓会員の皆様にはお元気で御活躍のこととお喜び申し上げます。

お陰様で、中学・高校共順調に成績を挙げ益々伸びております。世の中を見ますと、何事も思うように進んではおらず、個人としての不満もあって仲々生き甲斐を持っていないこともあります。

組織が個人の能力を十分に生かしきつていないというものはあり得ることです。だから「会社は私を生かして使ってくれない」とか、「この仕事は自分に合わない」などと不満を口にする人もあるようです。しかし、自分を生かすものは、会社や上司ではなくて御本人の方です。当の御本人が自分自身を充分生かされていなければ、会社や課長に生かせる筈もありません。

与えられた仕事に対して自分の力を発揮してこれを処理するのは自分自身の努力以外の何物でもありません。

花は美しく咲いたりよい匂いを発したりして蝶を呼び寄せます。咲きもせず匂いも出さず、さっぱり蝶がこないという文句を言っても仕方がありません。当人が努力し、ある方面の才能(力)があるということを示さなければ周囲の人にも上司にも認められませんが、その才能や能力

が認められれば適材として適所に置かれるようになるでしょう。

与えられた仕事がつまらないと思つたら面白くないのは当然だと思いません。問題はそれをどう受け止めるか、ということとでその人の将来は大きく違つてくると思いません。腐つてしまつていやいや仕事をし、不平を口にし友達と愚痴をこぼしても原因が無くならないからますますいやになつてしまひ仕事も充分できずまわりからあれは駄目な人間だと見られてしまいます。

面白くない仕事でも、何とかして面白くしてしまおうと工夫し努力をすると、工夫の仕方ですし、面白くなつてきたり、面白くならないまでも働く意欲が出てきて満足できる成果を挙げることができるようになるでしょう。そうすればまわりから、あれは積極的な人間だ、仕事熱心だ、今後はこれをやらせてみようかと自然に道は開け、仕事に生き甲斐を感じるようになるでしょう。このように生き甲斐は他から与え

られるものではなく自ら作るものだと思います。

不満の自家中毒を起こして自分を腐らせるほどつまらないことはありません。

最近では学業を終えて就職しても数年でやめてしまふ人が結構おられると聞いています。自分に合った職を求めるといふ話を聞きますが、私は学校を終わったばかりの若い人に、あなたは何ができるのですかと聞きたい。簡単に言えば就職希望者は大体大きな違いはないと思います。就職したあと伸びるかどうかはその人の工夫と努力によるものでしょう。

就職先での仕事の内容に対し直接、工夫・努力をするか、或いは別の分野(例えば経理とか営業などの分野)でもこの世の中で必要とされる知識をしっかりと学習して身につけておけばそれが必ず生きて自身を輝かせてくれることになり、立派な生き甲斐となるでしょう。同窓会員の皆様の御健康と御発展をお祈り申し上げます。

ご挨拶



中学校長

中山道夫

同窓会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に格段のご理解とご協力を賜つておりますことにまづもつて感謝申し上げます。

私は本年四月一日付で、新潟明訓中学校・高等学校校長を拜命致しました中山道夫と申します。

これまで燕中等教育学校や長岡高等学校の校長を経験してまいりましたが、この三月末までの五年間は、公立小・中学校や県立高校等を所管する新潟県教育委員会教育次長を務めておりました。

このたび県内屈指の伝統校であり進学校でもある新潟明訓中学校・高等学校に勤務できまふことは身に余る光栄と思つています。今年度は四月六日の

りと言われる学校を目指します。

二 二つの文武両道を実現する

生徒一人一人が文武両道を探求するとともに学校としての文武両道を探求します。

様々な場面で文武両道の意義を再確認し、学力、スポーツ・文化活動において全国レベルを目指します。

三 全員を有為なる人物として社会に送り出す

一部の生徒が難関大学に入るとか、一部が部活動で優秀な成績を残すことをもつてよしとするのではなく、すべての生徒が社会に貢献できる人間となるよう、それぞれの力を伸ばすことのできる大学等に進学させます。

四 全員に高い意識と目標を持たせるため、グローバル教育とキャリア教育を教育の中核とする

目も心も大きく開いて世界を見る姿勢、大学卒業後を見据え、将来の目的を持つて学ぶ姿勢を身に付けさせます。

一 新潟に明訓ありを実現する

県内においては、県立のトップ校に負けなない私学であり、全国からは、新潟県に明訓あ

五 みんながここにいらることが幸せと感じることのできる学校であり続ける

生徒同士の信頼関係、教職員同士の信頼関係、生徒と教職員との信頼関係を構築し、悩みを一人で抱え込まずに周囲に相談できる学校、いじめのない学校にします。

以上五点です。これらの方針は、昨年度までと変わるものではなく、年度当初から、生徒諸君や保護者各位にも折に触れてお話ししている内容です。

本校は、四年後に創立百周年を迎えることになりませんが、これらの運営方針を具現化し、新たな百年に歩を進めていきたいと考えています。

そのためにも、同窓会員の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、職員一同、一丸となつて日々の教育活動に取り組んでまいり所存であります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第29回首都圏新潟明訓会 総会・懇親パーティー開催

「平成28年度第29回首都圏新潟明訓会総会・懇親パーティー」が、平成28年11月20日(日)12時から、霞ヶ関ビル35階 東海大学校友会で行われました。

本部同窓会から渡辺会長、渡邊(淳)・林

両副会長、関西新潟明訓会からは阿部副会長が出席。来賓として母校大滝祐幸校長先生が出席くださり、70名ほどの開催となりました。

総会では役員改選が全会一致承認され、秋

葉正樹会長(S46年卒)から挨拶。

星野陽一・古金莊一(S51年卒)両氏の司会で、懇親会が始まり、来賓の方々から、ごあいさつをいただいた後、乾杯し、歓談へと進行しました。

今回も本部から持参の「越の寒梅」が振舞われ、渡邊(淳)本部同窓会副会長から、母校のこの一年間の活躍

紹介、熊倉由美さん(S56年卒)によるジャズタイム。

続いて、恒例の役員・有志提供による福引。初参加者の自己紹介、猪股正彰さん(S46年卒)指揮で校歌斉唱と続き、後藤 強前会長(S29年卒)の閉会の挨拶ののち、またの再会を約束し、懇親会はお開きとなりました。

関西新潟明訓会設立25周年 懇親パーティー開催

関西新潟明訓会設立25周年懇親パーティーが平成28年10月15日(土)午後1時より設立の地である「大阪マールビル大阪第一ホテル」に戻り開催されました。

同窓会本部からは大倉副会長、首都圏新潟明訓会からは小林副会長が出席。学校からは関西新潟明訓会初参加

となった大木副校長がご出席され、総勢17名での開催となりました。今回から、例年行われていた活動報告、決算報告は同窓会本部への報告のみとし、総会形式を廃止して懇親パーティーへとスタイルを変更しました。今年も参加者も17名と少なく、会発足当時のメンバーの高年齢化に

より、近年では参加者の顔ぶれも固定化されつつある中で体調不良での欠席や転勤で関西圏を離れる方もおられ、参加者数が伸びない状況が続いています。

しかし、新たな試みとして関西圏の大学に進学している同窓生にピンポイントで声をかけたところ、猪爪至恩さん(同志社大1年生)・星野拓哉さん(立命館大1年生)の2名から参加をいただき、

少人数ながらも若い同窓生の参加により例年とは雰囲気異なりました。来年度も学生会員の輪を広げ参加者の増員を図っていきたいと思います。

関西圏にお住いの同窓生の皆様、是非一度、関西新潟明訓会にご参加下さい。お待ちしております。

連絡先:(幹事)阿部邦義
090-5902-2993



出席者全員で記念撮影



出席者全員で記念撮影

明訓高等学校より報告 グローバル教育の取り組み

MeGA 2

エンパワーメントプログラム

今年で5回目となる MeGA2 (Meikun Global Activity2) を、7月24日から28日までの5日間、明訓高校で行いました。中高貫生114名と高入生36名の合計150名の高校1年生が参加、国内外の大学から外国人大学生・大学院生を36名招聘し計186名



エンパワーメントプログラムの様子(その1)

という最大規模での実施でした。また、多くの先生方に参観頂きました。本プログラムは、英語でのレクチャーやディスカッションを通じて、生徒の視野を広げ、多面的で多様なものの考え方を知り、それを生徒自らの言葉として伝えられるようになることを



エンパワーメントプログラムの様子(その2)

期待しています。プログラムの最終日には、生徒一人一人が、自分の夢や5日間で学んだことについて英語でプレゼンテーションを行いました。こうした経験は、生徒自身の将来のみならず世界の将来を考えるきっかけになるはずで、英語力に関しては、この5日間だけで英語が聴けるようになり、話せ

るようになるわけではありませぬ。しかし、英語で相手の考えを理解して自分の考えを伝えるという密度の濃い時間を経験することで、これからの英語の学習に向かう姿勢に変化が生まれることを期待しています。プログラムに参加した150名の明訓生の今後の成長と活躍がとて楽しみでです。

MeGA 3

コース選択型海外研修



「ボストン」にて

平成27年度より新たなスタイルで始まった研修です。今回はその2回目に当たり、平成29年の3月4日から約10日間の日程で行われました。対象は、一貫生の高校1年生全員と、高入生の1年生希望者。総勢150余名の参加となりました。

行先は、アメリカ東海岸、アメリカ西海岸、カナダ、オーストラリア、東南アジア(シンガポール・マレーシア・ブルネイ)の5コースです。どのコースでも、一貫生と高入生が適度に散らばりました。約半年前から事前学習を定期的に行い、いっしょに行く仲間の顔を覚え、渡航先の様子を学びました。日本の特徴を考え、



「カナダ」にて

土産を準備した生徒も多かったです。諸外国との人・モノ・情報の行き交いが桁違いに増えていく中、若者が外国の様子的一端を見ることはとても価値あることだろうと考えての研修です。同時に「かわいい子には旅をさせよ」というように、普段の環境からあえて飛び出し、日本では感じるこ



「オーストラリア」にて



「ロサンゼルス」にて



「ブルネイ」にて

い「言葉の不自由さ」「不慣れた食事」「緊張を強いられる私物管理」に苦勞しながらも成長する機会に変えて欲しいと願うの研修です。予定外の出来事はいろいろありましたが、全体として生徒たちはよく努力し、仲間と声を掛け合い、研修を進めることが出来ました。帰国後も、報告



稲刈りを終えて全員集合 (9月22日)

学校教育田での活動は、今年で4年目を迎えることができました。本年度は5月22日に田植え、9月22日に稲刈りが行われました。中学1・2年生が田植えをし、中学1・3年生が稲刈りを行いました。田植えでは泥の感触や冷たさに喜びの悲鳴をあげながら楽しく行いました。稲刈りでは、植えた稲

明訓中学校より報告 田植えと稲刈り実施

書に自身の経験をまとめ、来年度の参加予定者に対して口頭での報告を行うなど、最後まで自主性を刺激しながらの研修が行えたと思っています。どのコースにもセールスポイントがあります。ただ共通するであろうことは、「日本から出れば、

私たちは外国人になってしまい、外国人は、自発的に意志のやり取りをしなければならぬ」ということです。百聞は一見に如かず。この経験を糧に、さらに努力を重ね、尊敬される人へと成長していつて欲しいです。
(文責 高橋智巳)

10月13日 (金)に中学校はグローバル教育の二環として「新潟県を探求する、明訓の歴史を探る」ことを目標とし、第一学年は弥彦明訓校の碑の前で立志式を行い、弥彦山登山を実行しました。第二学年は川岸町跡地から現在の校舎へ道のりをたどりました。第三学年は、前日までの雨の影響で大倉山登山ができ

中学一年生 『立志式・弥彦山登山』に向けて

平成29年度中学校トレッキング

の成長を実感しながら狩りました。バツヤやカエル、ネズミまで出現し、やはり歓声をあげながら楽しく稲刈りをすることができました。



なくなってしまうため、福島県立博物館と鶴ヶ城を見学しました。

学 校 高 案 内



過去5年間の合格者推移

国公立大学	2013		2014		2015		2016		2017	
	現役	既卒								
北海道	1		3	2	3		7	2	2	1
東北	3	13			2		8		1	
山形	4	4	1	2	1	4	2	2		
福島	1		1		4		1			
筑波	4		4	2	4	1	5	1	2	
埼玉	2	1	7	1	2		6		2	1
千葉	5		4		1		4	1	2	1
お茶の水	1				1					
電気通信	1				1	1	3		2	1
東京	3		1		2	1	1	1		
東京学芸	4				3		2	1	2	1
東京外国語				1	1	1	1		5	
東京工業	2				1		1			
一橋			2							
横浜国立	1		1	1	2		4		2	
新潟	51	8	54	7	58	5	67	9	33	17
長岡技術科学	1		1		1		1		1	
上越教育	3	2	1	1			1	1		1
富山	1		2		2				1	1
金沢	1	1	3		4		2		1	1
信州	1		3		2	1	3	1		1
名古屋	1				1		1		2	
京都	1		1		1					1
大阪	1		2				1		2	
九州							1			
高崎経済		1	7		8		3			
首都大東京	3		2	2	1	1	2			
横浜市立	3				1		1	1	1	
新潟県立	21	3	36	2	21	1	24	1	15	3
新潟県立看護	4	1	2	2	3		2		3	
その他	18	4	38	5	16	4	33	1	25	4
小計	142	21	192	27	148	17	189	22	106	35
国公立合計	163		219		165		211		141	

私立大学	2013		2014		2015		2016		2017	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
自治医科	2						2			
早稲田	13	2	9	2	8	3	8	4	10	3
慶応	2		9		2		9	1	2	1
上智	3		3	3					3	3
東京理科	3	1	12	1	6	3	5	2	11	7
明治	16	4	23	2	11	4	12	1	12	5
立教	14	1	8	5	4		7	1	5	2
青山学院	5	1	11	1	6		9	2	6	2
中央	12	5	24	6	17	7	27	10	21	7
法政	11	7	28	9	17	8	12	1	22	3
学習院	4	1	1		4	1	5		5	2
東京農業	3	1	5	1	5	5	7		2	1
津田塾	2						2		6	
国際基督教	2		1	1	1				1	
北里	4	1	4	1	1	2	2		1	1
芝浦工業	3		9	5	5		6	1	11	3
成蹊	2	1	5	3	4	1	2		2	
成城	4		2	1	4	1	2	1	2	1
日本	35	5	33	14	40	9	29	9	27	3
東洋	18	1	19	3	21	3	28	5	23	5
駒沢	20	3	16	4	22	3	15	2	14	2
専修	18	1	24	5	12	9	16	3	16	4
明治学院	11	2	6	5	11	3	7		5	2
獨協	9	7	4	2	10	1	4		2	
神奈川	7	1	16	3	13	3	11	1	8	2
新潟薬科	29	3	21	2	5	7	19	1	13	3
同志社	7		9	2	8	3	4	2	4	1
立命館	12	2	11	7	14	7	11	1	3	
関西	1		1	2	2	2	2		1	
関西学院	1				3	1	2		3	
その他	246	33	277	48	272	36	287	38	259	43
小計	519	83	591	138	528	122	552	86	500	106
私立合計	602		729		650		638		606	

進学指導部
大変健闘した入試結果
京大浪1名進学
医学科現浪5名進学

最近の入試状況と 本校の概況

全国の入試状況
 平成29年度大学入試センター試験は、前年差で国語が22点ダウンしましたが、英語筆記が12点、数学I A II Bで10点アップしました。その結果、国立型系では9点アップの556

点に、理系では2点ダウンの562点となり、ほぼ昨年並みの平均点となりました。
 国公立大学入試は、2次試験出願数が47.1万人と昨年比0.1万人減となり、志願倍率4.7倍となりました。
 私立大学入試は、一

平成29年度 大学入試 (現役)	東 京	北 海 道	東 北	名 古 屋	大 阪	九 州	東 工	一 橋	筑 波	難 関 大 合 計	国 公 立 医 学 科	早 稲 田	慶 應	私 立 医 学 科
合計		2	1	2	2				2	9	1	10	2	
Iコース				2	1				1	4		1		
IIコース												1		
IIIコース														
IVコース		2	1		1				1	5	1	8	2	

般入試の志願者数が前年より約7%増加しました。
本校の入試状況
 本校のセンター試験の結果は、文系では557点、理系528点となりました。合格数は、現役では、国公立大学106名合格と

なりました。北海道大2、東北大1、名古屋大2、大阪大2、筑波大2、東京外大5、福島県立医科大1、早稲田大10、慶應大2など難関大学合格者数も、コース問わず健闘しました。また、医学科は現浪合わせて国公立へ3名進学、私立へ2名進学しました。
 生徒が明訓の指導を信じ、目的意識・志望が明確であり、最後まで諦めることなく、当たり前の学習(予習、授業、復習)を地道に行い、入試問題に対して、どのように取り組めば合格できるのかを具体的に考え学習した結果であると考えます。
 現在、現役高校3年生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思えます。

体育祭

平成29年9月5日開催



選手宣誓

去る9月5日、今年度で9回目となる体育祭が開催されました。今年度は天候に恵まれ、練習期間を含め一度も雨に降られることなく予定通りに行うことができました。

体育祭は中学、高校全クラスを3つの連合に分けて競い合いますが、連合色を全校の投票で決めるなど、生徒の意見を反映できるような工夫を取り入れながら生徒会が企画を進めていきました。

昨年度、中学高校で行う「応援歌」を取り入れるなど、中高一体の盛り上がり高め、工夫を取り入れました。今年度は中学と高校の連携をより深め、応援歌の練習時間も昨年よりも多く取り入れて各連合ともよ



り完成度の高いパフォーマンスを見せられました。全体のプログラムに関しては昨年度を踏襲しながら、各競技がどのようになれば盛り上がり、かつスムーズに進行するかを生徒会が考えてルールや役員の動きを作ってくれました。本番では非常にテンポよく競技が進み、時間内に全プログラムを行うことができました。



延びた時間がなくなることで、見応えも増したように感じました。これまでさまざまな試行錯誤を経て内容も変わってきた体育祭ですが、「明訓の体育祭」といえる形がある程度見えてきたように思います。来年以降、それを引き継ぎつつ、新たな展開を見せてくれることと思います。

短い準備期間の中で、連合長、応援幹部、生徒会を初めとする生徒たちの熱意で今年度の体育祭も成功を収めることができました。あらためて「明訓」の持っている力を感じることができた一日でした。

今年度の明訓祭のテーマは「無限 No Dreams, No Meikun」でした。このテーマには、明訓の生



明訓大賞 3年9組

平成二九年度
明訓祭
平成29年6月10日開催

徒には無限の可能性と無限の力があり、夢を持つて明訓祭を素晴らしいものにしてもらいたいとの思いが込められています。クラス表現では、従来の「教室展示部門」から「教室作品部門」という名称に変更され、参加者が作品を実際に体験して楽しむといった観客参加型の作品が新たに加えられました。

また、前夜祭のリバーティ・スクエアでは、高度なダンスの技術や歌唱力を発揮し、目の前で繰り広げられる華やかなパフォーマンスに会場は大いに沸き上がりました。

明訓の伝統に加え、新しいものをどんどん創り出す明訓生の「無限の可能性」をうかがい知ることができた素晴らしい明訓祭でした。

今年度の受賞クラスは次の通りです。

◎明訓大賞

三年九組
(屋外アート部門)

○部門賞

・教室作品 三年四組
・教室演劇 二年三組

・映画 一年一組
・ステージ 三年二組
・屋外アート 二年十一組

○奨励賞 一年七組
○大衆賞 三年四組

○CM賞 二年五組・二年十一組
◎中学明訓大賞 三年A組
(ステージ部門)

国内学芸研修

10月10日

(火)から13日

(金)まで、高

校第2学年部

I・II、IVコー

スの国内学芸

研修が実施さ

れました。この

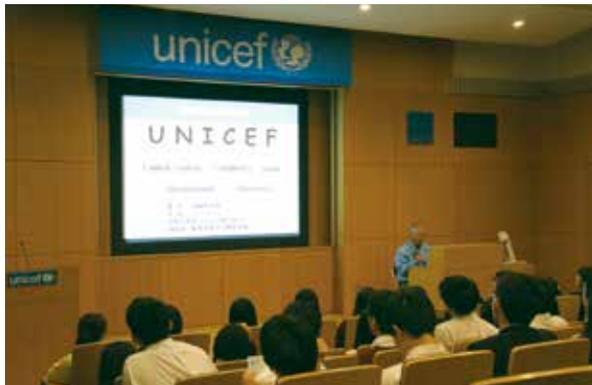
研修は、コース

によりカリキュ

ラムの差がある

ことから、コー

スによって多少



ユニセフ訪問

目的が異なりますが、おおむね共通した内容で実施されています。5月から慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授の余田拓郎教授を招聘し、企業を学ぶことから始まり、7月には「らくたび」代表

取締役の若村亮氏から、京都地区の研修について理解を深めました。さらに9月には「ビジョナリー・ジャパン」代表取締役社長の鎌田洋氏より、夢を実現すること

や働くということについて学んできました。ここまでの事前準備を土台に現地での3泊4日の研修に臨みました。

京都・奈良の関西地区では、坐禅体験や寺社の拝観等のグローバル研修を通して、我々のルーツを感じる事ができました。この経験が自身のアイデンティティの形成につながり、今後、世界を舞台に活躍する多くの生徒たちにとつて、大きな助けとなると信じております。東京を中心とした関東地区では、キャリアデザイン研修として企業や省庁、研究施設等を訪問しました。今まではおぼろげながらにしか想像できなかった自身の将来像が、この研修を通して、その輪郭をより明確にすることができたのではないかと感じております。

この4日間の研修は過去から現在、そして未来へという流れをイメージして組み立てています。京都・奈良にて我々の基礎をなす古の日本(過去)を感じ、東京で企

業等の訪問をし、現在の社会の仕組みや社会に貢献すべく働く人々の姿を間近で学び、そして自身の未来を創造します。何より大切なのは、ここで考えた未来の姿を現実のものとするべく、今、具体的に動き出すことです。今後は、生徒たちに変化する勇氣を与え、力強く進んでいくよう背中を押し、こうと、学年では考えております。

普段の生活では得られない体験を通して、内容の濃い、充実した研修を行い、友人との良き関係を築くことができました。これからは「チーム明訓」として大学受験へ向かっていきます。今後もご支援をお願いいたします。

最後に同窓会の皆様にお願いがあります。I・IIコース(現1年生からはI類)の研修において生徒自身が企業や団体等を調べて、アポイントを取っています。関東地区または関西地区で働く同窓会の皆様のお力をお借りできれば、大きな助けとなります。さらに同窓生のみならず、協力していただくことで、明訓への愛校心の醸成へとつながると考えます。準備が整いましたら、ホームページ等でお知らせします。その際はご協力願えますよう、よろしくお願い申し上げます。



建仁寺での坐禅体験

平成29年度 部活動報告

〔運動部〕

◎剣道部

平成29年度春季新潟地区大会
5/7、8 新潟市体育館

男子団体 第3位
男子個人
第3位 石川 富未也
ベスト16 須田 友紀
富樫 拓海
渡辺 晃

*前記の者は、新潟県高等学校総合体育大会男子個人戦に出場。

女子団体 ベスト8
女子個人
ベスト16 篠田 晃里

《第70回新潟県高等学校総合体育大会 6/2、6/4日
リージョンラザ上越》

男子団体 準優勝
男子個人
第3位 須田 友紀
第5位 岡本 成美
熊倉 正勝

*前記の者は、第55回北信越高等学校剣道大会男子個人戦に出場。
ベスト16 渡辺 晃
女子団体
予選リーグ敗退

◎陸上競技部

《春季新潟・下越地区大会
5/6、8 新潟市菅陸上競技場》

男子
100M 第6位 知野 竜斗

第8位 藤井 海都
200M 第3位 藤井 海都
第5位 木下虎之介
400M 第2位 高橋 幸大
第3位 大塚 稜介
第4位 荻原 元
4×100M 第2位 知野竜斗・須藤光祐
藤井海都・大塚稜介
4×400M 第1位 高橋幸大・荻原 元
藤井海都・大塚稜介
100M 第2位 曾我賢太郎
8種競技 第5位 本間 洋平
女子
100M 第1位 河井 優衣
第5位 塚本 朱璃
第6位 小川さくら
第8位 塚本 朱璃
400M 第2位 大須賀美由
4×100M 第2位 本田菜々・河井優衣
小川さくら・塚本朱璃
4×400M 第2位 小川さくら・大須賀美由

塚本朱璃・亀田彩香
800M 第4位 大須賀美由
1500M 第5位 山岸みなみ
3000M 第4位 戸前 春菜
5000M 第5位 若林 理紗
1000M 第3位 本田 菜々
第4位 関口 奈々
第7位 酒井 千和
400M 第6位 本田 菜々
円盤投 第8位 森川加奈子
砲丸投 第1位 森川加奈子
*計30の入賞。37名が県総体出場権獲得。

《新潟県総合体育大会
陸上競技大会 5/26、29
デンカビッグスワンスタジアム》
男子
100M 第8位 知野 竜斗
400M 第1位 高橋 幸大
第5位 大塚 稜介
4×100M 第6位 須佐俊紀・知野竜斗
藤井海都・大塚稜介
4×400M 第4位 高橋幸大・木下虎之介
藤井海都・大塚稜介
女子
100M 第3位 河井 優衣
第5位 塚本 朱璃
第8位 小川さくら
200M 第3位 小川さくら

《北信越体育大会
陸上競技大会 6/15、18
富山県総合運動公園陸上競技場》
男子
4×400M 第6位 高橋幸大・木下虎之介
藤井海都・大塚稜介
100M 第5位 曾我賢太郎
女子
100M 第3位 河井 優衣
第7位 塚本 朱璃
800M 第8位 大須賀美由
4×400M 第3位 小川さくら・大須賀美由
塚本 朱璃・亀田彩香
100M 第4位 本田 菜々
*計7の入賞。6位入賞の5種目15名がインターハイ出場権獲得。

《秋季新潟・下越地区大会
9/9、10 新発田市
五十公野公園陸上競技場》
男子
100M 第2位 佐々木唯人
200M 第3位 佐々木唯人
第5位 木下虎之介
400M 第3位 見田 朋海
4×100M 第2位 土屋篤志・佐々木唯人
木下虎之介・荒川康生
4×400M 第3位 見田朋海・木下虎之介
三好 生・土屋篤志
100M 第1位 曾我賢太郎
400M 第2位 曾我賢太郎
走幅跳 第4位 土屋 篤志
第5位 荒川 康生
女子
100M 第3位 塚本 朱璃
第5位 緑川 愛夏
第6位 長谷川サラ
200M 第3位 塚本 朱璃
第4位 長谷川サラ
第7位 緑川 愛夏
1500M 第1位 山岸みなみ
第4位 永田 彩水
3000M 第4位 永田 彩水
第6位 伊藤 柚葉
4×100M 第2位 緑川愛夏・塚本朱璃
関口奈々・長谷川サラ
4×400M 第5位 塚本朱璃・長谷川サラ

- 市川優衣・関口奈々
- 1000M
- 第2位 関口 奈々
- 第3位 本田 菜々
- 第5位 倉石 珠倅
- 4000M
- 第5位 本田 菜々
- 第6位 関口 奈々
- 円盤投
- 第5位 森川加奈子
- 砲丸投
- 第1位 森川加奈子
- *計30の入賞。25名が県総体出場権獲得。
- 《新潟県高校選抜陸上競技大会 9/23~24 高田公園陸上競技場》
- 男子
- 1000M
- 第5位 佐々木唯人
- 2000M
- 第5位 佐々木唯人
- 第7位 木下虎之介
- 4000M
- 第5位 木下虎之介
- 4x1000M
- 第3位 土屋篤志・佐々木唯人
- 木下虎之介・荒川康生
- 4x4000M
- 第3位 見田朋海・萩原 元
- 三好 生・木下虎之介
- 1100M
- 第1位 曾我 賢太郎
- *大会新
- 4000M
- 第4位 土屋 篤志
- 第8位 曾我賢太郎
- 女子
- 1000M
- 第3位 塚本 朱璃
- 第6位 緑川 愛夏
- 第7位 長谷川サラ
- 2000M
- 第3位 塚本 朱璃
- 15000M

- 第1位 山岸みなみ
- 3000M
- 第7位 伊藤 柚葉
- 4x1000M
- 第2位 緑川愛夏・塚本朱璃
- 関口奈々・長谷川サラ
- 4x4000M
- 第4位 関口奈々・塚本朱璃
- 1000M
- 第2位 倉石 珠倅
- 第4位 本田 菜々
- 第6位 関口 奈々
- 4000M
- 第4位 関口 奈々
- 第7位 本田 菜々
- 円盤投
- 第7位 森川加奈子
- 砲丸投
- 第1位 森川加奈子
- *計24の入賞。4位までの入賞の19名が北信越新人大会出場権獲得。
- 《春季新潟地区サッカー大会 5/7~5/9 鳥屋野球場 他》
- ◎サッカー部
- 1回戦 シード 鳥屋野球場 他
- 2回戦 対 新潟江南
- 0-1
- 順位決定戦 対 高志中等
- 12-1
- シード獲得リーグ戦1
- 5-0
- シード獲得リーグ戦2
- 3-1
- 《第70回新潟県高等学校総合体育大会 5/27~6/4 五十公園陸上競技場 他》
- 1回戦 対 村上桜ヶ丘
- 2-0
- 2回戦 対 十日町

- 2-1
- 3回戦 対 日本文理
- 0-1
- ◎野球部
- 《第136回北信越地区高等学校野球新潟県大会 4/29 鳥屋野運動公園野球場》
- 1回戦 対 新潟南
- 0-10
- 《第136回北信越地区高等学校野球新潟県大会 5月1日 鳥屋野運動公園野球場》
- 2回戦 対 新潟江南
- 0-2
- 5月3日 (鳥屋野運動公園野球場)
- 3回戦 対 万代
- 0-11
- 5月7日 (鳥屋野運動公園野球場)
- 4回戦 対 上越
- 0-5
- 5月8日 (長岡市営悠久山球場)
- 準々決勝 対 開志学園
- 0-10
- 5月14日 (長岡市営悠久山球場)
- 準決勝 対 日本文理
- 1-9
- 5月15日 (長岡市営悠久山球場)
- シード順位決定戦
- 0-2
- 《第136回北信越地区高等学校野球大会 6/3 三条パール金属スタジアム》
- 1回戦 対 星稜(石川)
- 0-7

- 《第99回全国高等学校野球選手権新潟大会 7/10 五十公園野球場》
- 2回戦 対 上越総合技術
- 0-4
- 7/15
- 3回戦 対 長岡工業
- 3-4
- ◎弓道部
- 《第21回新潟県高等学校弓道錬成大会 3/28 新潟市鳥屋野総合体育館弓道場》
- 団体男子 準優勝
- 高橋篤生・山口一生・田中正太郎・坪野玲也・三木太志 40射28中
- 団体女子 第3位
- 長澤綾音・柁木智郁子・中村紗野・桑野美月・丸山カノン 40射20中
- 個人男子 第2位
- 坪野玲也
- 8射皆中で射詰競射
- 個人女子 第3位
- 柁木智郁子
- 8射7中で遠近競射
- 《春季新潟・下越地区弓道大会 5/2 新潟市鳥屋野総合体育館弓道場》
- 団体男子 第3位
- 高橋篤生・山口一生・田中正太郎・坪野玲也・三木太志 40射22中
- 団体女子 第3位
- 長澤綾音・柁木智郁子・中村紗野・田中もこ・桑野美月・丸山カノン 40射22中
- 個人男子 第3位
- 田中正太郎
- 8射7中で射詰競射
- 個人女子 優勝
- 中村紗野 8射皆中

- 《第70回新潟県高等学校総合体育大会弓道大会 6/3~5 新潟地域学園弓道場》
- 団体女子
- 長澤綾音・柁木智郁子・中村紗野・田中もこ・桑野美月・丸山カノン・佐藤璃奈
- 予選
- 60射39中↓1位通過
- 決勝トーナメント
- 1回戦 新潟明訓⑩-10長岡
- 決勝トーナメント準決勝 新潟明訓11-13新津
- 3・4位順位決定戦 新潟明訓2-7新潟江南
- ↓第4位入賞
- 個人男子 第6位
- 坪野玲也
- 予選 4射2中
- ↓通過
- 準決勝 4射皆中
- ↓通過
- 決勝射詰○×
- ↓遠近法で6位入賞
- 《第68回長岡まつり協賛 県内弓道大会 7/30 長岡市市民体育館弓道場》
- 団体女子 優勝
- 長澤綾音・柁木智郁子・中村紗野 24射17中
- 団体男子 準優勝
- 高橋篤生・風間俊哉・田中正太郎 24射15中
- 個人男子 優勝
- 風間俊哉 8射7中
- 個人女子 第3位
- 柁木智郁子 8射6中
- 《第38回北信越国民体育大会 8/18 永平寺町 緑の村ふれあい体育センター》
- 1回戦 新潟県14-44富山県
- ※長岡伊織・金井翔が出場

- ◎バドミントン部
- 《春季地区体育大会新潟県地区バドミントン大会 5/4~5 東総合スポーツセンター(男子)》
- 男子ダブルス
- 2回戦進出
- 大越玲哉・小林大起・井上悠己・本間和希・齋藤健太・石田侑都・菅野拓真・大川遥史・渡邊 翼・坂井宏惟
- 男子シングルス
- ベスト32
- 菅野拓真
- 2回戦進出
- 石田侑都・大川遥史
- 初回戦敗退
- 本間和希・井上悠己
- 県立新潟西高等学校(女子)
- 女子ダブルス
- ベスト32
- 那須野清夏・諸橋菜々香・熊木真優・成田柚月
- 2回戦進出
- 佐久間遥・高橋珠理
- 初回戦敗退
- 森下みなみ・齋藤はな
- 女子シングルス
- ベスト16
- 那須野清夏
- ベスト32
- 諸橋菜々香
- 2回戦進出
- 森下みなみ
- 初回戦敗退
- 熊木真優・成田柚月
- 《第70回新潟県高等学校総合体育大会女子バドミントン競技大会 5/25 サンビレッジしばた》
- 団体
- ベスト16
- 《第70回新潟県高等学校総合体育大会男子バドミントン競技大会 6/2 鳥屋野体育館》
- 団体
- 2回戦敗退

全国大会への道

陸上競技部

インターハイに出場して

陸上競技部 藤井海都

今年度、陸上競技部は五種目、十五名の選手が山形県で行われたインターハイに出場しました。本陸上競技部からは昨年度までインターハイの入賞を四年連続で輩出しており、今年のインターハイでも「新潟明訓」の名を全国へと広げることが目標に競技をしてきました。

しかし、思い描いたとおりにはならず、全員が予選敗退となってしまいました。あと0秒1で準決勝進出など、僅差での敗北ばかりで全国の舞台の厳しさを痛感しました。特に大会四日目には、インターハイの出場権を獲得できなかった部員も新潟から応援に駆けつけてくれましたが、ラウンドを進めることはできませんでした。当然のことですが、誰一人としてこの

結果には満足はしていません。ですが、このインターハイのステージに立つまでの過程というのは、昨年、一昨年に負けない、それ以上のドラマがありました。

例えばインターハイに出場するには北信越大会で六位以内に入賞しなければなりません。今年の男子四×四〇〇mリレーでは県総体でも四位と、この時点では正直、インターハイ出場は厳しいと思っていました。そこに追い打ちを掛けるように北信越大会では主力選手の怪我

によるアクシデントに見舞われました。しかし、その危機的な状況で選手一人ひとりが奇跡とも言えるようなパフォーマンスを発揮することができました。さらに決勝のレースでは運も味方につけてゴール前5mで前を走っていたチームが転倒し、七位から六位に順位を上げ入賞を果たすことができました。これは誰でも体験できることではな

く、インターハイという舞台をみんなが一つになって目指し、必死になって努力してきたからこそ得られる貴重な体験だったと思います。

また、今年のインターハイでは三年生はもちろん、一・二年生の活躍が素晴らしかったと思います。個人種目で二名、リレー種目で二名の四名の後輩選手が出場しましたが、全国の舞台で来年以降に繋がる走りをしてくださいました。これからは一・二年生主体のチームとなります。インターハイに出場した選手を筆頭に全国大会出場にとどまらず、入賞を目指して頑張つてほしいと思います。

最後に全国中学校総合体育大会に出場した者が皆無であった私たちが全国で戦えるまでに成長させて下さった金子先生、深滝先生をはじめ、日々共に切磋琢磨しながら頑張った部員の仲間たち、常に近くで見守ってくれた家族のみんなに感謝しています。ありがとうございました。

私たちダンス部は、8月7日〜10日に行われた第30回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)において、作品「In Blossom」17歳の青春抄」を上演し、



ダンス部 駆け抜けた青春

ダンス部主将 白倉絵蓮

ベスト16に値する審査員賞を受賞することができました。

この作品は、誰にも言えなかった悩みを部員の仲間たちに打ち明けたことから創作し始めました。人生の春と謳われる青春ですが、その真只中にある私たちは、学校生活や部活動、家族との関係などに

悩み、先の見えない未来に不安や焦りを抱えています。そんな私たちが抱える悩みを作品に散りばめ、「悩みは尽きないけれど、それでも今」という青春を駆

「け抜けた」という想いを表現しました。また、春の代名詞である桜をモチーフとし、青春という時の中で悩みに押し潰されそうな私たちの心情を、薄紅色の布を用いて効果的に表す工夫をしました。

今年、私たちは3連覇のかかった県総体で望んでいた結果を手にすることができず、その挫折から全国大会へ挑む自信を持てずにいました。自分やチームの弱さに直面し、何度も壁にぶつかりましたが、その度に話し合いを重ね、

部員全員が自分自身と向き合うことで、全国の舞台でリベンジしたいという気持ち強く持ち、練習に励むことができました。等身大の私たちを表現するために、未来の自分に手紙を宛て、今抱えている悩みをさらけ出しました。手紙を書くことで、自分の気持ちに素直になり、悩んでいる時の感情や情景を部員と共有し作品の表現内容を深めました。悩みの尽きない青春を生きる私

たちだからこそ表現できる、ありのままの感情が詰まった作品になったと感じています。今年の全国大会では、5年連続入賞という大きなプレッシャーもありましたが、作品の力に後押しされ、私たち自身が成長し、全国の舞台で戦うことができました。大会を通して、私たちは沢山の方々のご支援とご協力があつてこそ

活動ができていると改めて感じました。いつもご指導くださる先生方や卒業生の先輩方、支えてくれる家族や友人、応援してくださる地域の皆様など全ての方々への感謝の気持ちでいっぱい。それぞれが新しいスタートを切り、今後日々精進していきたいと思えます。たくさんのご声援、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

放送部

全国大会に出場して

放送部顧問 梅田愛子

放送部はこの夏、一つの全国大会に出場しました。

一つは、第四十二回全国高等学校総合文化祭宮城大会です。この大会には、朗読部門より三年生の矢部望実と芳賀柚月が、アナウンス部門より三年生の笛木志歩が出場しました。

もう一つは、今年で

二十四年連続出場となるNHK杯全国高校放送コンテストです。この大会には、朗読部門より三年生の矢部望実、芳賀柚月、内藤百花、吉田万柚子が、アナウンス部門より三年生の伊藤梨乃彩と笛木志歩が、ラジオドキュメント部門より三年生の熊木彩乃を中心に制

作した『Study with』が出場しました。このうち、アナウンス部門の伊藤梨乃彩が準決勝進出を果たしました。準決勝に進むことができたのは、全国からエントリーした計



四二三名のうち上位六〇名です。朗読アナウンス部門での上位獲得は本校では六年ぶりの快挙でした。

伊藤さんが出場したアナウンス部門では、学校にまつわる題材を取材してニュース原稿を作り、その内容と読みの技術で優劣を競います。伊藤さんは今回、本校の生徒たちを温かく見守る警備員の喜嶋さんを取材してニュースにしました。

緊張しながら迎えた本番でしたが、笑顔で楽しく伝えることを心がけ、見事ベスト六〇に選ばれました。実は伊藤さんは、二年前の入

学式で行われた新入生の誓いにおいて、「放送部に入りたい」と宣言して入部した生徒です。明訓放送部の先輩方が築き上げてきた歴史を知り、憧れ、自分もそうなるのだと誓った彼女が、こうして同じように全国の舞台で優秀な成績を残し、新たな歴史を刻んでくれました。

既に引退した三年生たちですが、今も放送部の様子を気にかけて、先日行われた体育祭の運営でもアドバイスをくれたり、勇気づけてくれたりしながら、後輩たちの心の支えであり続けています。三年生の強さと優しさを引き継ぎ、後輩たちはまた素晴らしい作品を創り上げていくに違いありません。

最後になりましたが、全国大会出場に際して多くの方々からご支援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。伝統ある明訓高校放送部の名を全国に響かせ続けることができるよう、これからも精進して参ります。

進んで参ります。

囲碁部 一種類の全国大会に出場して

囲碁部顧問 井上伸也

創部25年目の囲碁部は、今年19回目の全国大会出場を果たしました。



一つは7月25日(火)から日本棋院東京本院で行われた第41回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会。もう一つは7月31日(月)から宮城県白石市で行われた第41回全国高等学校総合文化祭です。選手権大会は女子個人の部に出場し、0勝3敗で一次リーグ敗退となりましたが、総文祭は団体戦で出場し、スイス方式による対戦で4勝2敗となり16位という結果を残すことが出来ました。総文祭の団体戦は他校の生徒さ

らも含む3人1チームでの出場、他校の生徒さんの力をお借りして好結果を残すことが出来ました。

両大会に出場した佐藤舞はまだ2年生です。向上のために練習を積み重ね、来年度はよりよい成績をおさめることを目指しております。

今年度はグーグル社のAIの囲碁ソフトが世界チャンピオンを破るとい

うことがニュースになっておりますが、現在全国の39の大学で単位の取れる囲碁の授業が行われているなど、囲碁は教育的効果も大いに期待されております。全世界で4000万人以上

上が親しんでおり、グローバル社会において極めて効果のあるものだと考えております。これからも教育活動の一環としての部活動における囲碁を普及させていきたいと考えております。

将棋部 第41回全国文祭に参加して

将棋部顧問 田中徹

囲碁・将棋部は、宮城県白石市で開催された第41回全国高等学校総合文化祭将棋部門男子団体戦に参加しました。

チーム(天井・菊盛・須貝)が2年連続3回目の優勝を果たしました。

5月に行われた県大会には、団体戦2チーム、個人戦3名が参加しました。個人戦では、入賞はできませんでしたが、団体戦ではA



今年度、団体は全員二年生という気心が知れたメンバー構成で臨むことが出来ました。もう一つの団体メンバーは全員が一年生で来春の県大会は、この2チームで決勝を争いたいものです。

8月に行われた全国大会では、過去に果たせなかった予選突破を目標に掲げ、団体メンバー一丸となって大会に臨みました。結果は1勝3敗で予選敗退と残念でしたが、局後の感想戦

でも全国の壁の高さを知ることができ、来年に向け良い経験となり満足しています。ご指導くださった顧問の先生方や先輩方、多方面にわたって支えて下さった学校関係者の皆さん、応援して下さいました。棋力向上を目指していきたいと思っております。今後とも将棋部をよろしくお願いたします。

写真部 みやぎ総文祭に参加して

写真部顧問 森本康裕

昨年度の「第三十回専門部展」で当時一年生の佐藤まりんと二年生の名古屋美月の二名が全国総文祭への出品者として推薦を受けました。新潟県からは八名の推薦枠があります。そのうち二名が新潟明訓高校の生徒とな

りました。また、学校賞一位も獲得することができ、現在精力的に活動をしているところです。

写真部門は七月三十一日より八月三日まで、宮城県仙台市のせんだいメディアテークをメイン会場に開催されま

した。例年通り、同伴の生徒も募り、顧問を含め、六名で参加して参りました。

全国から出品された作品をじっくり鑑賞し、今後の作品のヒントになりそうなものがあればメモをとるなど、研究熱心な様子が見られました。他県の出品者と直接触れあう生徒交流会を通して良き思い出作りもできました。

現地では松島海岸での撮影会に参加し、梅雨明けの青空の下、浴衣を着たモデル撮影や遊覧船から見える景色をそれぞれの観点から



多くの方々からの応援や協力があつたからこそこのことです。大変ありがとうございました。感謝の気持ちを大切に、今後も作品作りに励んでいきたいと思えます。

撮影しました。国宝瑞巖寺を初めとする名所・史跡を訪れ、歴史を肌で感じることもできました。七夕まつりの準備や、伊達政宗公生誕四百五十周年記念イベントで賑やかな町の様子を撮影する機会もあり、盛りだくさんな内容となりました。

三泊四日の日程は、あつという間に過ぎてしまいました。生徒たちはみな「仙台でもっとゆっくり過ごしたい」と口を揃えるほど仙台が大好きになりました。この日も家族や友人をはじめ

合唱部は、8月4日(金)に、宮城県仙台市の中心部にある「東京エレクトロンホール宮城」での合唱大会に「新潟県合同合唱団」として、新潟清心女子高校、東京学館新潟高校と共に出演してきました。全員で48名の参加となりました。

合同チームということ、4月から月に1-2回のペースで合同練習を行い、「世界に1つだけの花」「くちびるに歌を」の2曲を演奏してきました。大会では前日に交流会が開催され、宮城県の実行委員である高校生たちが、歌を交えたクイズや、見知らぬ隣の人とのコミュニケーションを交えたゲームなどを企画。様々な趣向を凝らしたイベントで会場

合唱部

みやぎ総文2017 合唱大会に出場して

合唱部顧問 星山 香織

中が盛り上がりました。最後には、仙台で活躍されている作曲家、なかにしあかね先生の作品「ケヤキ」を2000人で大合唱し、感動につつまれ交流会を終了いたしました。

本番は雨が降っていたこともあり、8月とは思えないほど涼しい中での演奏でした。普段はなかなか他県の歌を聴く機会が少ないですので、とても刺激的で、生徒達も一番良いパフォーマンスをしてくれたと思います。この合唱大会はコンクール形式ではないため、楽しみながら演奏を終えることができました。

顧問会議ではどの県からも、部員の減少で悩みを抱えているという声が続々と聞かれました。音楽教員の数も減少し、なかなか合唱に力



を入れることが難しいということでしたが、歌える子供たちをこれから育てていきたいという意思の元、大会も終了しました。

最後になります。日々合唱部の活動にご支援くださっている保護者のみなさま、多方面で支えてくださって

る学校関係者のみなさま、応援してください。感謝申し上げますと共に、これからもコツコツ努力を重ねて、みなさまに私たちの歌声を届けられますように練習していきます。今後とも合唱部をよろしくお願いたします。

同窓会ホームページと交流掲示板

同窓会ではホームページを開設しています。同窓会総会のお知らせなどはホームページでお知らせ致します。ぜひ一度、同窓会ホームページをご覧ください。

また、ホームページ内に「交流掲示板」を開設しましたので、このサイトは明訓同窓生の部活、OB、OGの活動情報や同期会情報など自由な情報交換の場としてご利用下さい。

<http://niigata-meikun-dousoukai.com/index.html>

渡和吉山
邊田村川
汐直日李
織人葉子杜

太遠江伊飯青 9組
田藤口藤濱山 (40名)
万栄 颯 拓
貴章 舞 汰 圭 矢

齋小 小陸木川尾
藤柳 林 村 崎 崎
大建 敏 真 桜 雄 留
雅人 樹 唯 子 基 唯

戸富田高 高神佐坂齋
川檜邊橋橋保藤上藤
芽美祐真駿亮杏美正
衣紗紗実貴子太介子卯昂

平樋服長長能中中
野口部谷谷川登谷村川
蒼珠黄理琴咲仁太品

吉横山山山矢向皆前武
田木本田部井川山藤
汐花 伶 天尚遙美
里音 涼 司 律 地 吾 香

平成二十八年年度

会費納入状況

◎入会金

全日制 68 回生 381名

三八一、〇〇〇円

◎終身会費

全日制 68 回生 381名

一、九〇五、〇〇〇円

◎入会金

二、二八六、〇〇〇円

会務報告

一 会議

(一) 総会

平成28・11・5(土) 16:00

於 ANAクラウンプラザホテル新潟

・アトラクション 17:00

・等原壮史(平成5年卒)さん夫妻

「フェリーチェ」オペラコンサート

・懇親会 17:40

昭和50年卒業の皆様「還暦のお祝い」

(二) 常任委員会

平成29・4・11(火) 18:30

於 ANAクラウンプラザホテル新潟

・平成29年度 総会、アトラクション、懇親会について

・同窓会ホームページリニューアルについて

平成29・9・26(火) 18:30

於 ANAクラウンプラザホテル新潟

・平成29年度 総会(収支決算見込み、予算案、役員改選)、アトラクション、懇親会について

(三) 役員会

平成28・11・28(火) 19:00

於 じよいあす新潟会館

・平成28年度 総会、アトラクション、懇親会の総括

・平成28年度 スケジュール協議

平成29・3・28(火) 19:00

於 じよいあす新潟会館

・平成29年度 総会、アトラクション、懇親会について

・同窓会ホームページリニューアルについて

平成29・7・18(火) 19:00

於 じよいあす新潟会館

・平成29年度 総会「アトラクション」について

・同窓会ホームページリニューアル(スマートフォン対応化)について

・役員改選について

平成29・9・12(火) 19:00

於 じよあす新潟会館

・平成29年度 総会(収支決算見込み、予算案、役員改選)、アトラクション、懇親会について

二その他

平成28・10・15(土) 13:00

於 大阪マルビル 大阪第二ホテル

・関西新潟明訓会 設立25周年懇親パーティーが開催される

・本部より大倉副会長、首都圏新潟明訓会より小林副会長が出席、学校より大木副校長の出席をいただく

平成28・11・20(日) 12:00

於 霞ヶ関ビル 東海大学校友会

・首都圏新潟明訓会 平成28年度 総会、懇親パーティーが開催される

・本部より渡辺会長、渡邊(淳)・林 両副会長、関西新潟明訓会より阿部副会長が出席、学校より大滝校長の出席をいただく

平成29・2・16(木) 19:00

於 ホテルオークラ新潟

・新年懇談会(学校管理者及び同窓会担当教職員の方々を招いて開催)